

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土）13 時 30 分～14 時 55 分		
開催場所	りんくる	聴 衆	7 名
担当議員	3 班	花田(班長)、村上(司会)、佐々木(記録)、堀、長原	

報告事項に関する質疑

Q1 先日の地震の際、停電でガソリンの給油がなかなかできなくて苦労しました。大部分のスタンドで発電機がなかったために給油ができなかったと思うのですが、今後このような停電に備えてガソリンスタンドに発電機を用意していただくような要請や市としてお金を出して整備していくような計画はないのでしょうか。

A1 地震発生直後からガソリンがなくなるという噂が流れまして、皆さんが慌ててスタンドに駆けつけたという状況が見られました。ガソリンがなくなるというのは全く噂の範囲でして、石狩市には新港地域がありまして、そこに大きな石油備蓄基地があり十分な備蓄があります。しかしながら停電で信号機が停止していたという状況でありましたことから、タンクローリーが安全にガソリンをすぐに運べなかったという状況もございましたが、かといって信号が復旧すればガソリンが供給される状況にありますことから、ガソリンが全部なくなるという状況は考えにくのですが、皆さんの不安の心理というものが働いてこういう状況が起きたものと考えられます。ガソリンスタンドは各企業の固有の施設でありますので、各企業に対して市民の税金を使って直接助成を行うことが妥当かということは考えていかなければなりませんので、今のところそのような計画はないということになります。ただ、今回のような事態を想定して非常用電源の整備を要請していくようなことは必要になると思いますし、現在、市では今回の震災における課題について整理しているところですので、それらの課題に対して順次対策を講じていく必要があると思います。その他、非常用電源の整備で考えていかなければならないのは、携帯電話の無線基地についてで、現在もバッテリーで一定時間は稼働するのですが、バッテリーがなくなると携帯電話がつながらなくなってしまうので、今回のような状況に対する対策を要請していくことも今後検討していきたいと思っております。

Q2 地震の時にガスがつかない電気がつかない時に 役所から何も説明も情報もなかった。郵便局や銀行の営業についても何時から営業再開したのか全く情報が分からなかった。

議会報告会実施報告書

A2 市の広報については多くの市民の方からもっと情報が欲しかったという声が多く寄せられていまして、今回の地震の教訓、反省点として、今回のような事態の時にどうしたら正確な情報を多くの市民の皆さんに発信していくことができるのかということは、今後より研究していかなければなりません。今回とった対応の一つは、ホームページで情報を載せましたが、停電のためこれでは情報が届きませんでした。そこで市では水道と総務から2台の広報車を出したのですが、市内全域を回らなければならず、また声が大きくなかったので話している内容が聞き取れない、ということで逆にどのような内容だったのかという問い合わせがありました。今回、意外と有効だった手段として回覧板がありました。これららのことを教訓として今後市民に情報をどう伝えるかということについては、大きな課題として検討していかなければならないと思います。厚田区、浜益区では津波の心配がありますので防災無線があります。対策のひとつとしては防災無線を市内全域に広げていくことも必要だと言われています。また Twitter などの SNS の活用についても検討していく必要があると思います。また、停電により多くの高齢者の皆さんから、夜真っ暗ななか、テレビも見られない、ラジオも聞けない状況で、一人で部屋の中にいると、非常に孤独を感じたという声がありました。停電については、いつ頃、どのような状況になるのかの情報が届けば、少しは安心できるといったこともあったと思いますが、北電に何回も問い合わせをしても、今回は全く情報が得られませんでした。今後は、このような情報も多く伝えられるようにすることが必要だと思います。また、ラジオで情報を得ようとしている方も多くいたと思われませんが、ラジオでは厚真町の状況の放送が中心で、石狩市としてもNHKに情報は出しているのですが、何を放送するのかはNHKに委ねられおり、放送局の判断になります。NHKとしては身体的な危険が迫っている情報を優先するということがあるようで、なかなか石狩の情報ラジオから得ることができなかったということで、教訓として課題が残ったと思っています。

Q3 プラスチックゴミの件が国際的にも問題になっていますが、他の国では製造段階から排出規制が行われています。日本はまだ進んでいない状況ですが、石狩市として国の方に提案していくというような考えはありませんか。

A3 商品の製造や販売の段階で削減していくことが必要だと思います。プラスチック製品を使わないようにしていくということが最終的に削減につながると考えられますので、このことについては自治体単位ではなく国として取り組んでいくことが重要であると思います。環境意識やプラスチック製品の規制については、議会としてというよりは、議員、個人としての考え方があるかと思っています。

議会報告会実施報告書

Q3（再） 排出の規制とともに デポジット制という取り組みもあって、ドイツでは使用したものをもう一度再使用して極力廃棄を減らす努力をしています。石狩市では戸別収集という大変良い取り組みが行われています。このようなことからデポジット制に対しての考え方も、もっと積極的に出していけないのではないかと思いますので、国としての問題ではありますが地方議会からもぜひ声を上げて行ってもらいたいと思います。

A3（再） 積極的に検討していく余地があると思いますので、一人一人の意識が高まっていけば、削減に向けた方向性に結びついていくと思います。また、行政が主体的に取り組む実効策の一つとして有料化の料金の値上げとも考えられると思いますので、今後、議会にて検討していければと思います。

補足させていただくと歯磨き粉のスクラブにもプラスチックが使われていて、太平洋だけでもオーストラリア大陸五つ分のプラスチックゴミがあると言われていています。そこで目の細かい網でプラスチックゴミを取ろうという実験が瀬戸内海で行われており、この実験が成功したら広い範囲で実行していこうというような取り組みが進められています。スターバックスコーヒーではストローを廃止すると宣言していますし、アレフさんでも段階的にプラスチック製品の削減に向けた取り組みを進めていこうとしています。このように企業側も努力をしていますので、私たちも後押しをできるように協力していきたいと思います。

Q4 札幌市ではプラスチックごみを無料で回収しているのですが、石狩市では同様の取り組みは難しいのでしょうか。

A4 石狩市では戸別収集という方式により札幌市よりも収集コストが高いという現状もありますし、ゴミの有料化というのが削減につながったという事実もございますので、単純に無料であるというよりも、ごみの削減やコスト等も含め、相応の負担が必要だと思います。

戸別収集の導入によりゴミの排出量が減ったという実績がありますので 無料にした場合、排出量が増える可能性が高いと考えられます。現在の北石狩衛生センターの最終処分場もあと10年ぐらいでいっぱいになると言われていますし、無料ではなくゴミを出さないようにするまたは再利用するなどといった仕組み、取り組みが優先だと思います。

Q4（再） ごみの減量化も重要だと思いますが、個人の努力で減らせるのも限界があるかと思っています。人口規模も違うので、札幌市でできているから石狩市でもできるのかというのは違うのかもしれませんが 実際に行なっているところもありますので、市民の利便性も踏まえて検討していけないものではないでしょうか。

議会報告会実施報告書

A4（再） 札幌市においては、石狩市が行っている戸別収集の導入に向けた市民からの期待が高く、道内で一部の自治体でしか実施されていない戸別収集の導入に向けた検討が行われていますが、コストや道路状況、積雪時の課題など、様々な事情もあり、実施に踏み切れていない状況です。石狩市においては戸別収集実施後のゴミ収集に係る評価は大変高いといえます。戸別収集に伴い収集コストは高いですが、それ以上に住民満足度にもつながっていると考えます。プラスチックゴミの無料化の実施にあたっては、相対的なコストも検討し戸別収集の是非という部分も考え直さなければいけないと思います。このようなことも踏まえて、無料化についてはご理解を頂きたいところです。現在のところ議会としてはプラスチックゴミの無料化については検討していない状況です。

行政サービスの向上といった部分では、一つの声として行政部局には伝えていきたいと思えます。

Q4（再々） 戸別収集を行っているから、無料化できないということでしょうか。

A4（再々） 戸別収集の実施には、収集車の台数を増やしたり、人件費の増加といった部分で大きくコストが増加しています。石狩市では有料化と戸別収集を同時に実施しており、ごみ有料化に伴う増収分が収集コストの増加と同程度となっており無料化の実施にあたっては、限りある財源のなかで、どこに財源を使うかといった議論になるかと思えます。

（意見）

プラスチックごみについては、札幌市と石狩市では処分方法が違いますので、この点も考えなければいけないと思います。無料化については、直接ごみ排出者が払うのか、市民の税金から払うかの違いですので、この点も考えていかなければならないと思います。

意見及び要望等

Q1 今回の台風では、倒木が沢山あり、紅葉山公園や街路樹も酷い状況でした。市として、今後の植樹についてはどのように考えていますか。樹木は環境においても必要なものだと思いますし、植樹する樹木を考えて早い時期から無くなったところに植樹して管理していくことが必要だと思いますので、提案をして頂きたい。

北海道銀行から旧紅葉山小学校に行く遊歩道で10年くらい前にニセアカシアがバタバタと倒れたことがありました。その時は、倒れた木からひこばえが多く出てきて大変でした。間に合わなくて、除草剤を撒いたくらいでした。今後、今回倒れた木からもひこばえが沢山出て大変なことになると思いますので、その点も考えて下さい。

議会報告会実施報告書

A1 商店街からは落ち葉をどうするという声もありますし、道路の景観からも必要という声もあります。道路の植樹帯には、景観の上でも木を植えることが基本となっていますので、商店街や住宅街の皆さんと相談の上で対応していかなければならないと思います。植樹といっても多くのお金がかかりますので、現在、市では、自分たちで木を育てようと、実験的に公園予定地で苗木を育てるという取り組みをしております。必要などころ、要望のあるところに植樹をしていくという予定で準備をしております。必要などころには植樹をしていくというのが市のスタンスであり、その上で、どこが必要で、どこが必要ではないかは、市民の皆さんと協議をしていくことになろうかと思えます。

要望事項

- 1 議会報告会の開催について、広報に間に合わないのであれば、回覧板だけではなく、家庭に一枚ずつ入れて頂かないと、多くの人の目に留まらないと思います。
- 2 風力発電の7基については、調整運転が始まっていますが、回っていると、向きによっては、道路や歩道に少しかかっているくらいの大きな羽なので、ぜひ現地を見て下さい。また、石狩市は協定書を結ばないということですが、市の責任という事も考えて頂きたい。
- 3 風車が建った近くで働いていたパートさんは、具合が悪くなって、病気になって辞めた人や転職を考えている人が多いと聞いています。
- 4 花川北中学校は避難所となっていますが、今回の台風で樹木がたくさん倒れて、フェンスを壊したら、校舎にも当たりそうでした。ニセアカシアは要注意外来種の性格で、適正に管理しないとひこばえ等がすぐに伸びて増えてきます。旧給食センターの横にある2本は、災害が起きた時に倒れたら危険で、トゲも多いです。市からは、今回の災害の樹木に対する費用に60万から80万円の予算がかかるので撤去は出来ないと言われていますが、ぜひ撤去に向けて取り組んで頂きたい。